



ゆすい NEWS

No.47

平成 26 年 2014. 6. 19 発行



題字:大岡 信氏(詩人)

三島ゆすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3
Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/>
※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

平成 26(2014)年度・第 23 回三島ゆすい会総会開催

3月1日(土)16:00~16:50、Via701で、三島ゆすい会総会が開催されました。塚田冷子会長の挨拶の後、豊岡武士三島市長、川原章寛三島市議会副議長、宮沢正美静岡県議会議員の順に、来賓の方々からご挨拶をいただきました。司会は、水野幾子理事が務めました。



挨拶する塚田冷子会長



豊岡武士市長 川原章寛副議長 宮沢正美県議会議員

次に青木利治理事が議長に選出され、議事録作成人に大村皖伸理事、議事録署名人に中西康徳理事、柴原俊介理事が指名されました。

大村洋子事務局長が平成 25 年度事業報告・決算報告および平成 26 年度事業計画・予算案等について説明し、監査報告は小松幸子副会長が代読し、議事は全て承認されました。

司会の水野幾子理事



議長を務めた青木利治理事

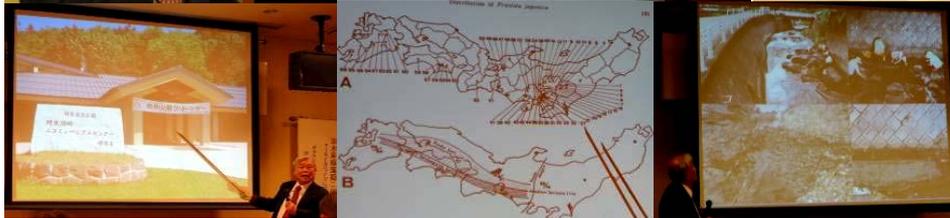


事業報告等をする大村洋子事務局長

講演会 「淡水産緑藻類 2 例 マリモとカワハリについて」 講師 安原健允先生(日本大学名誉教授・豊川市立赤塚山公園ぎょぎょランド[淡水魚水族館]名誉館長)



総会に続き、17:00~18:00 には、同所で記念講演会が開催されました。パワーポイントを使用し、さらに安原健允(やすはらたけのぶ)先生作成の貴重な資料(「南フィンランド・ポジョ湾産マリモについて——マリモの故郷ツェラー湖を訪ねて」、「復活した猫沢川の芝川海苔」など)も配布していただき、淡水産緑藻類について日本や海外の事例を丁寧に説明していただきました。阿寒湖のマリモは、まだ注目されていない頃、湖畔の住人たちが、乾燥させて座布団に入れたり針刺しにしたりしていたそうです。



マリモの故郷でありながらマリモ絶滅が危惧されたツェラー湖では、訪問した夏の調査で、水温 18.7℃~22.0℃、pH 6.4~6.7。開発の波が押し寄せた現地では、藻類を見掛けたもののマリモ発見には至らず、「マリモが永遠にその球体を保ちうる環境を守り続けなければ」と痛感したそうです。また、江戸時代には幕府への献上品であった芝川海苔も、高度経済成長期の河川の汚染や流量の減少、繁殖地の荒廃などにより、昭和 50 年代に激減し、特産品であったことも忘れ去られようとしていました。ところが、平



成9 (1997) 年夏頃からの富士宮市内の地下水上昇により、翌年、30年振りに猫沢川にカワノリ (芝川海苔) が復活し、多くの人々の関心を集めました。しかし、その後の河川改修や水量減少等にもない、繁殖は減ったそうです。

「世界的な特産ともいえる淡水食用藻類・芝川海苔について、地域でも積極的に取り組むことで、環境復活、自然環境の保全に努めたいものです。また、そこにこそ地域の活性化や街おこしの原点があるのでは？」と語りました。

講演会終了後は18:15より、講師の安原健允先生も交えて、恒例の交流会が開かれました。来賓の方々のご挨拶につづき、乾杯、そして歓談。宮崎部長からは、三島ゆうすい会の次なる取り組みへの期待が寄せられました。

平成26 (2014) 年度 三島ゆうすい会 役員名簿

- 会 長: 塚田冷子 副 会 長: 小松幸子、秋山峰治
 事 務 局 長: 大村洋子
 理 事: 小浜修一郎、岩田重理、青木利治、広川敏雄、佐伯忠夫、中西康德、水野幾子、柴原俊介、宇水勉、大村皖伸、平林紘治、西川勝美
 監 事: 山口厚 相 談 役: 渡辺豊博
 運 営 委 員: 福場正視、杉橋芳夫、庄司峯子、山梨一正、間野孝次、越沼正、大庭治美、岡野久代、柴原英子、松根典子、米山友子、坂井良重、佐藤久美子
 顧 問: 中川和郎、山岡修一、小野徹、落合義郎、渡辺妙子、志村肇、木下秀彰
 専 門 家: 西岡昭夫、渡辺佐一郎
 名 誉 顧 問: 大岡信 (詩人)、富士真奈美 (女優)、吉行和子 (女優)、藤田弓子 (女優)



山形武弘三島市観光協会会長のご祝辞



交流会の司会は、秋山峰治副会長。



講演会の安原健允講師からも一言



宮崎眞行三島市役所経済産業振興部長のご祝辞



乾杯の音頭は、小野徹顧問。



和やかな交流会風景



水辺でカワセミに会うことも！

第11回「身近な水環境の全国一斉調査」に今年も参加(初回より連続参加)



市街地班 (塚田冷子、小松幸子、大村洋子、大村皖伸)

まず、源兵衛川の「しば橋」付近で調査。気温は23.0℃。水温は18.1℃。CODは、1分おきに3回測定し、0と1の間の0に近い値で、「とてもきれい」というレベルでした。

郊外班 (宇水勉、平林紘治、柴原俊介、西川勝美)



こちらの班は、大場川の3カ所を調査。山田川との合流点、神川橋付近、青木橋付近。前日が雨でしたが、かなりきれいに見え、COD値は、「少し汚れている」でした。

全国の調査結果は、主催者の専用のホームページや、国土交通省水管理・国土保全局のホームページで知ることができるそうです。



その後、水の苑緑地、御殿川、桜川で、同様の調査をしました。

6月8日(日)8:30に塚田邸に集合し、例年どおり、郊外班と市街地班がそれぞれ水質調査に出発しました。

これは、事務局を東京都国分寺市におく「全国水環境マップ実行委員会」(実行委員長:小倉紀雄)の呼び掛けで、世界環境デーの6月5日に近い日曜日に行うというもので、三島ゆうすい会は、当初より連続して参加協力しています。測定項目は、気温、水温、COD等です。

力を合わせて「小水力発電・ピコピカ」のメンテナンス



4月22日(火)、有志によって「小水力発電・ピコピカ」のメンテナンスを行いました。この日だけでは時間が足りず、後日続きの作業を行い完成させました。これを電源として、水辺の可愛い照明灯が安全のために光っています。

「遠くのかわをみる会」視察の打ち合わせ

4月5日(土)に、横浜市の「遠くのかわをみる会」の島村雅英さん(左から2番目)、加藤正之さんが、視察の日程、内容、学習会会場、宿泊場所等の打ち合わせにきました。塚田冷子会長、小松幸子副会長が対応しました。これから募集を開始して5月の連休中に来訪とのこと。再会が楽しみです。



機関紙や『トンボでつなぐ京浜の森——10年の記録』『花鳥風月のまちづくり』等、関係書籍を寄贈されました。(後日、『三島ゆうすい会 20周年記念誌』を贈呈しました。)

視察直後に届いた御礼メール

このたびは、昨日から本日にかけて、「よこはまかわを考える会」の「遠くのかわをみる会」にて、学習会から現地までのご案内をいただきましてありがとうございました。少し前に、自宅に無事戻りました。

源兵衛川は、今までに何度か訪れたことがあったのですが、実際に榎井さんの話や、現地で活動されているみなさまにご案内いただいたことで、地域活動の重要性を改めて実感することができました。また、みなさまの熱意には、感動しました。

みなさまと別れた後は、温水池を見学しました。風が強く残念ながら逆さ富士を見ることはできませんでしたが、すみの坊でうなぎをいただくことができました。

その後は、数名で柿田川湧水を訪れ、相変わらずの湧水量に感動しつつも、公園化が進み、以前(30年ほど前)のような神秘さがなくなってしまうことはちょっと残念でしたが、多くの人が訪れるような施設とするには仕方ないでしょう。

それでは、とりいそぎ、お礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

島村 雅英

横浜市の「遠くのかわをみる会」をご案内

三島市まで打ち合わせにみえた方々との再会の日になりました。



学習会の様子



整備前の源兵衛川(パワーポイントより)



交流会では、ご馳走さま!

5月3日(土)夕方、横浜市の「よこはまかわを考える会」のみなさんが視察のために三島市を訪れました。一行は、磐田市の桶ヶ谷沼を訪れてから三島市へ来たのですが、疲れも見せず、三島市民活動センター4階の第3会議室で、源兵衛川再生に関わった榎井正澄(まついまさすみ)さんによるパワーポイントを使っての学習会に参加しました。題して「豊かな水辺を取り戻すころみ 三島・源兵衛川・暮らしの水辺」。初めて見る映像もあり、源兵衛川再生の経緯を詳しく話していただきました。

三島ゆうすい会からは、塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村暁伸理事、松根典子運営委員が参加しました。また、当時、源兵衛川の自然環境調査を担当された故・杉山恵一元静岡大学教授の夫人で、三島ゆうすい会会員である杉山美智子さんも参加しました。

その後、交流会会場へ。さらに一行は、宿泊の竹倉温泉へ。

翌5月4日(日)、前夜招待を受けた3人が源兵衛川等の案内をしました。カルガモのヒナたちの愛らしさも人気でした。雷井戸ですっかりくつろぐ参加の大学生や高校生の姿は、眩しく嬉しい光景でした。



ミシマバイカモ・保全活動

毎月、原則として第2日曜日の午前10時から、「三島梅花藻の里」等で、ミシマバイカモの保全活動を続けています。みなさまも、長靴やビニール手袋等をご準備のうえ、ご参加ください。三島では、ミシマバイカモの花を、ほぼ通年、見ることができます。



理事会風景

毎月、原則として第3木曜日の19:00から三島ゆうすい会の理事会を開催しています。

ホームページをリニューアル!

「三島ゆうすい会」のホームページが、リニューアルされ、随時更新中です。「ゆうすいNEWS」もカラー版で見ることができ、従来のホームページも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

URL: <http://www.yusui.org/>

定例活動のお知らせ

- ★いずれも、自由参加
- ★雨天の時は、原則休み

宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」とともに、清掃します。

「三島梅花藻の里」で ミシマバイカモ保全活動

- ・原則毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則毎月第2日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」とともに、清掃します。

源兵衛川の第2、第3ゾーンと宮さんの川からシンコウパークまでの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から 広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則毎月第1土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」とともに、清掃します。

フィリピンの大學生が、塚田邸で水琴窟の音を楽しむ。水野幾子理事宅へホームページを立ち寄る。

パネル展示で参加 「三島市民活動フェスティバル」



2月22日(土)、三島市民活動センター4階で「三島市民活動フェスティバル」が開催され、三島ゆうすい会では、活動を紹介する新パネルを展示しました。

「しずおか小水力発電フォーラム」に参加



2月12日(水)に、静岡県農業水利施設を活用した小水力等利用推進協議会主催の「しずおか小水力発電フォーラム」に、大村皖伸理事と平林紘治理事が参加し、理事会で報告しました。



基調講演は「地域主導の小水力発電の導入について」、事例発表もそれぞれ興味深いタイトルでした。

2人は、参加しての感想を次のように語りました。「各地で積極的に取り組む動きがある。ピコピカも全国で300機は動いている」「発電機がコンパクトで安くなってきている」「2年間で、実質的に変わった」「法的に全量買い取り制度が整備された」「手続きも簡素化された」「小水力発電機も改良されている」等々。

一同は、三島在住者の事例発表の話題にも関心をもち、今後の取り組みに思いを馳せました。

ご寄付の御礼

安原 健允 様

ご支援、ご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ★正会費 3,000 円
- ★賛助会費 1口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名: 三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
口座名: 三島ゆうすい会
会長 塚田冷子
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
口座名: 三島ゆうすい会
会長 塚田冷子
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名: 三島ゆうすい会
会長 塚田冷子